

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第35週 (ARIのみ第34週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (35 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	なし
			50歳代	男	結核性心膜炎	咳、その他
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
		日向	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT2)
4類	レジオネラ症	宮崎市	80歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、その他
5類	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症	延岡	60歳代	男	—	その他

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 277 人(定点当たり 17.5)で、前週比 112%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は流行性角結膜炎であった。

また、第 34 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 907 人(定点当たり 32.4)で、前週比 120%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は 40 人(1.4)で、前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.16)の約 8.9 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

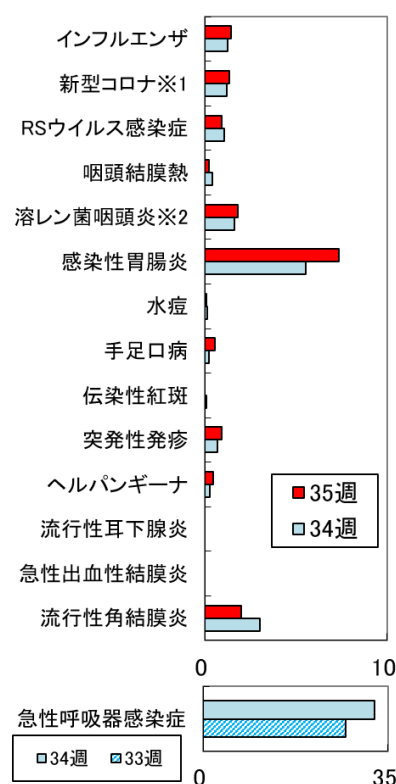
報告数は 27 人(1.8)で、前週比 113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.3)の約 1.4 倍であった。年齢群別は 5 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 110 人(7.3)で、前週比 133%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (6.8)の約 1.1 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

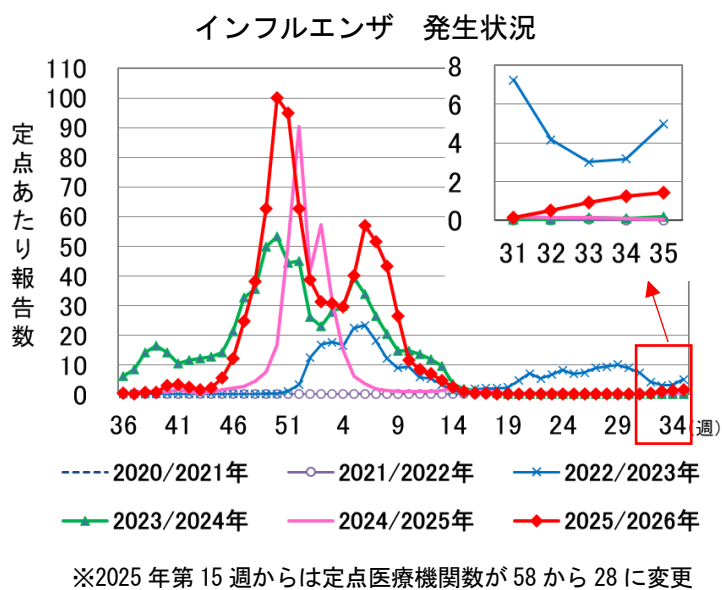
《前週との比較》



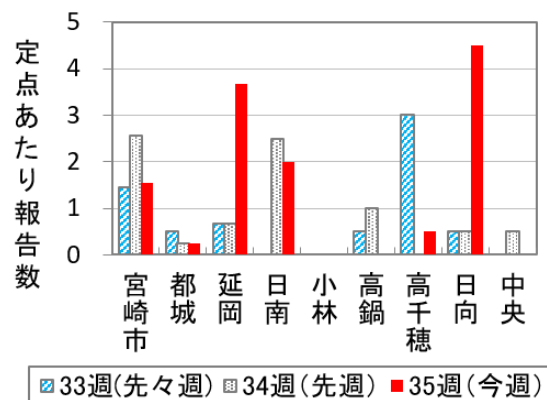
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

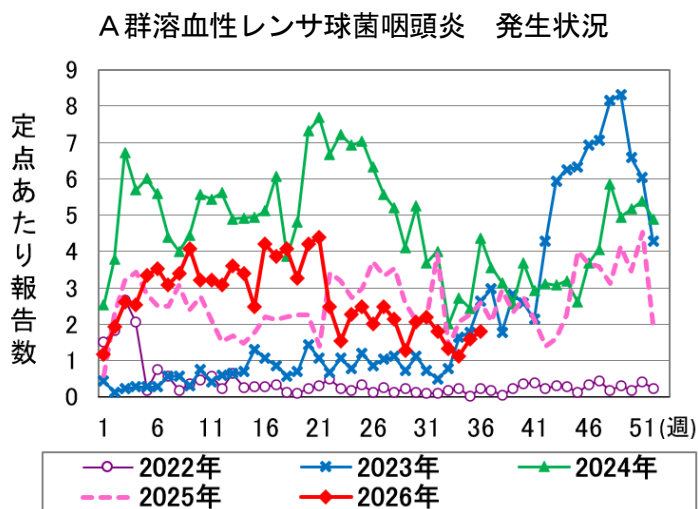
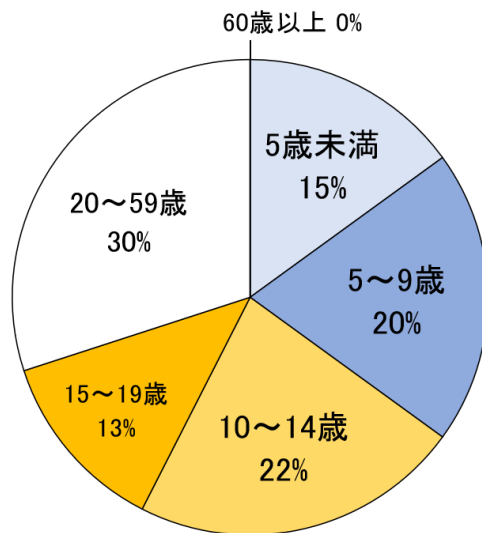
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



インフルエンザ
保健所別推移(3週分)

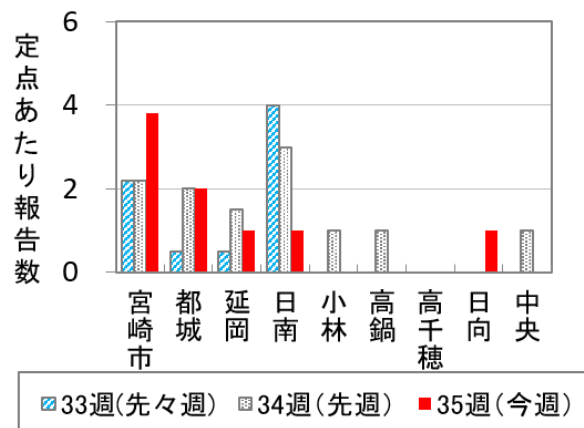


インフルエンザ
年齢群別グラフ(第35週)

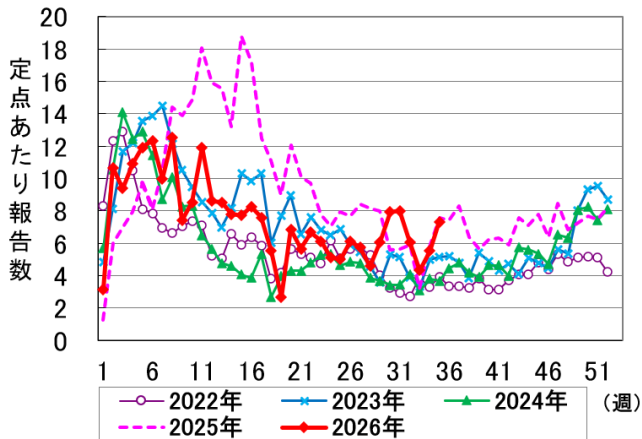


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)

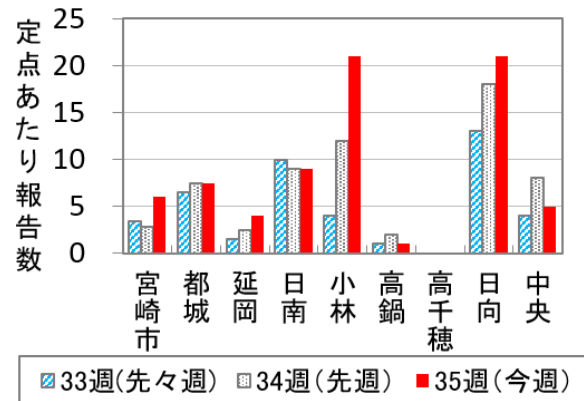


感染性胃腸炎 発生状況



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移 (3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 3 例(定点当たり 0.43)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢はいずれも 5～9 歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(10.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(21.0)
中央	なし

※ 流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)

(第 34 週:8 月 17 日～8 月 23 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			2
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			1
ライノウイルス			2
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			5
受付検体数			10

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 8 月 31 日までに検出分)

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同日日
EPEC (OUT:H6)	80歳代	男	2026.08.03	発熱、下痢	便	2026.08.12
EPEC (OUT:H6)	80歳代	女	2026.08.03	発熱、嘔気・嘔吐	便	2026.08.12
EPEC (OUT:H6)	80歳代	女	2026.08.03	下痢	便	2026.08.13
EPEC (OUT:H6)	70歳代	女	2026.08.03	発熱、腹痛、下痢	便	2026.08.13
EPEC (OUT:H6)	60歳代	女	2026.08.04	下痢	便	2026.08.13
EPEC (OUT:H6)	80歳代	女	2026.08.04	発熱、嘔気・嘔吐、下痢	便	2026.08.18

★ウイルス

報告なし

🇯🇵 全国 2026 年第 34 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	240 例
3類感染症	コレラ	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	マラリア	2 例
	アメーバ赤痢	11 例
5類感染症	急性脳炎	9 例
	後天性免疫不全症候群	15 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	10 例
	破傷風	2 例
	麻しん	1 例
	細菌性赤痢	1 例
	A型肝炎	21 例
	腸管出血性大腸菌感染症	213 例
	エムポックス	2 例
	デング熱	8 例
	日本紅斑熱	19 例
	レジオネラ症	41 例
	レプトスピラ症	1 例
	ウイルス性肝炎	3 例
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	19 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	ジアルジア症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例
	梅毒	195 例
	播種性クリプトコックス症	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	66 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 123%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 122%と増加した。

インフルエンザの報告数は 4,094 人(1.1)で前週比 161%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.1)の約 10.1 倍であった。沖縄県(4.4)、岩手県(2.1)、青森県(2.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,420 人(1.1)で前週比 133%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 1.0 倍であった。愛媛県(4.1)、鳥取県(2.7)、島根県(2.6)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 7,284 人(3.3)で前週比 156%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約 1.1 倍であった。石川県(6.7)、福井県(6.4)、大分県(5.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	35	40	14	1	11	4			1	9	
	定点当り	1.25	1.43	1.56	0.25	3.67	2.00	0.00	0.00	0.50	4.50	0.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	33	38	9		13	4	2	4	4	2	
	定点当り	1.18	1.36	1.00	0.00	4.33	2.00	1.00	2.00	2.00	1.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	16	14	9	1	2		1	1			
	定点当り	1.07	0.93	1.80	0.50	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	3	2							1	
	定点当り	0.40	0.20	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	24	27	19	4	2	1				1	
	定点当り	1.60	1.80	3.80	2.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	83	110	30	15	8	9	21	1		21	5
	定点当り	5.53	7.33	6.00	7.50	4.00	9.00	21.00	1.00	0.00	21.00	5.00
水 痘	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.13	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	8	4	2				2			
	定点当り	0.20	0.53	0.80	1.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	14	7	2	4		1				
	定点当り	0.67	0.93	1.40	1.00	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	7	2	2	1				2		
	定点当り	0.27	0.47	0.40	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	12	2		10						
	定点当り	3.00	2.00	0.67	0.00	10.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2	3	3								
	定点当り	0.29	0.43	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第34週(08月17日～08月23日)

		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	754	907	231	124	121	61	105	95	35	69	66
	定点当り	26.93	32.39	25.67	31.00	40.33	30.50	52.50	47.50	17.50	34.50	33.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～35週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	93例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	46例(1)		
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症	12例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	1例	クリプトスポリジウム症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	水痘(入院例)	6例	多剤耐性緑膿菌感染症	2例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例
	麻疹	1例		

()内は今週届出分、再掲